

令和7年度（2025年度）栄養管理報告書集計結果まとめ

1 栄養管理報告書の役割

旭川市では、「特定給食施設及び多数給食施設」の施設管理者に対し、年に1度「旭川市特定給食施設等栄養管理報告書」の提出をお願いしています。

報告書を作成していただくことにより、自施設の栄養管理の実施水準や改善点の確認に繋がります。

また、提出された栄養管理報告書から施設の栄養管理状況を把握し、栄養指導員による巡回指導や研修会の企画・実施に役立てています。

2 対象

特定給食施設及び特定かつ多数のものに継続的に1回50食以上または1日100食以上の食事を供給する多数給食施設を対象としています。

対象施設 212施設

施設種別	特定給食施設	多数給食施設	計	特定給食施設	多数給食施設	計
1 病院	20	11	31	9.4%	5.2%	14.6%
2 介護老人保健施設	9	1	10	4.2%	0.5%	4.7%
3 老人福祉施設	14	16	30	6.6%	7.5%	14.1%
4 社会福祉施設	2	11	13	0.9%	5.2%	6.1%
5 保育所・児童福祉施設	45	22	67	21.2%	10.4%	31.6%
6 学校	40	11	51	18.9%	5.2%	24.1%
7 その他	3	7	10	1.4%	3.3%	4.7%
全体	133	79	212	62.6%	37.3%	99.9%

3 提出期間

令和7年7月10日～8月15日

4 結果

(1) 提出状況

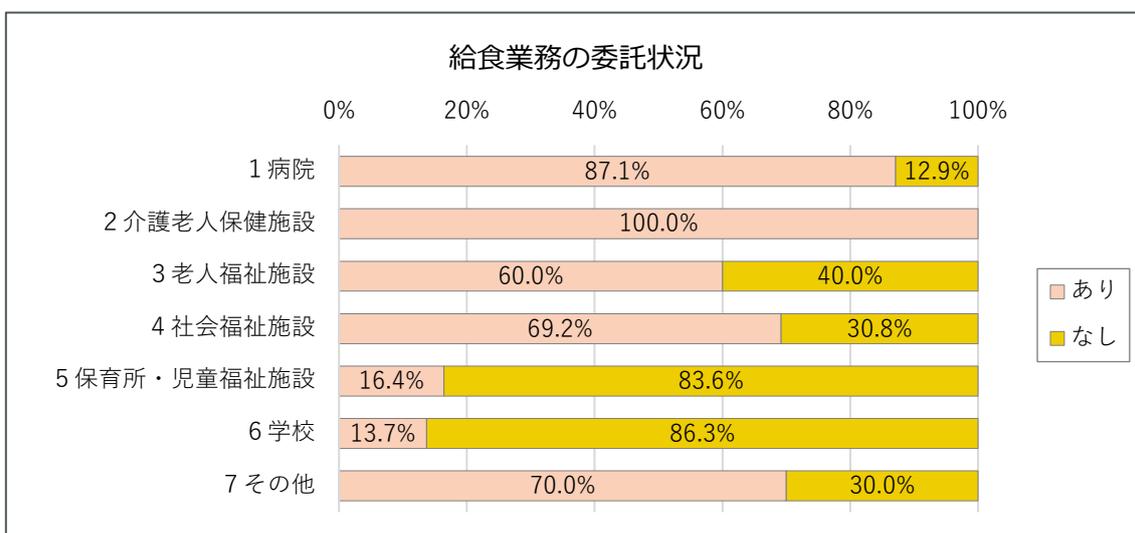
提出施設数 212施設 提出率 100%

- 今年度、提出方法及び記載内容の変更がありましたが、昨年度と同様に全施設からの提出がありました。

(2) 給食業務の委託状況

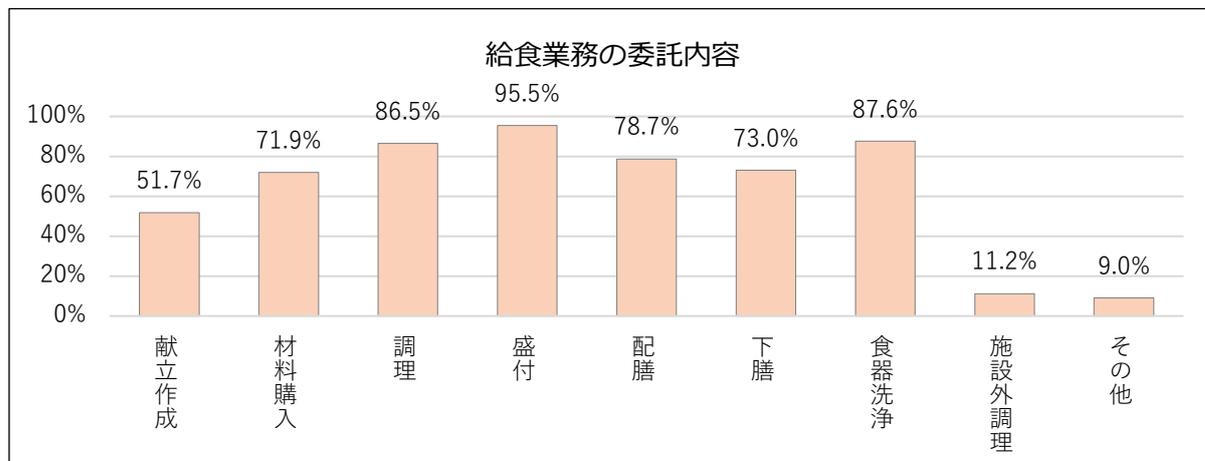
※ 今回のまとめについては、値が0のデータはグラフに表示をしていません。

施設種別	あり	なし	合計
1 病院	27	4	31
2 介護老人保健施設	10	0	10
3 老人福祉施設	18	12	30
4 社会福祉施設	9	4	13
5 保育所・児童福祉施設	11	56	67
6 学校	7	44	51
7 その他	7	3	10
全体	123	89	212



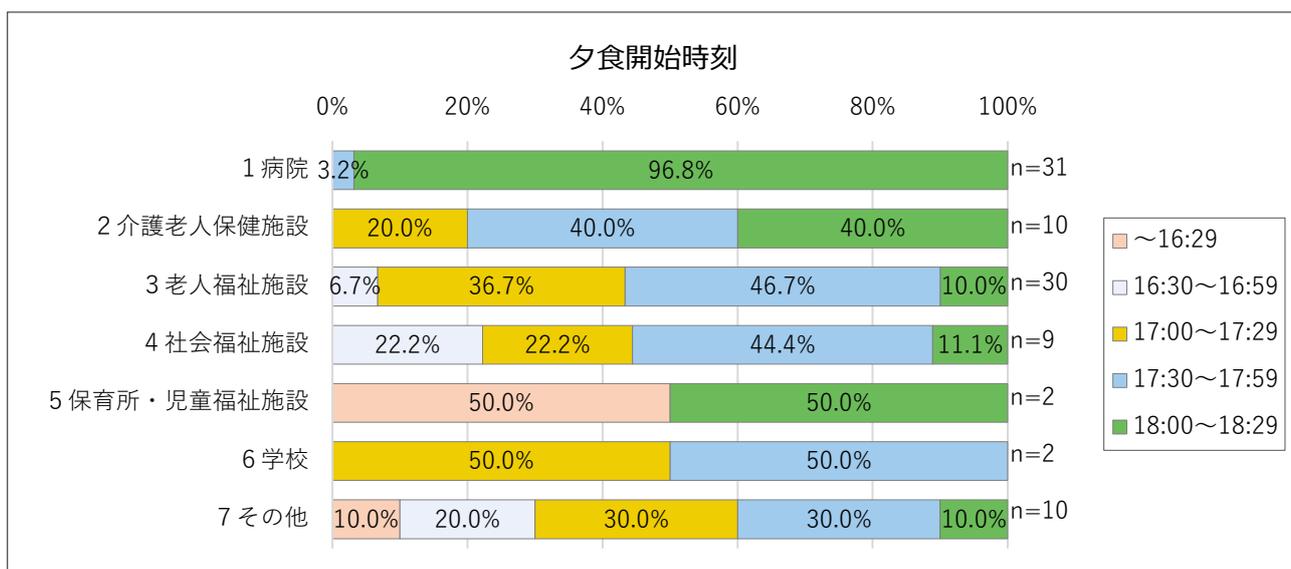
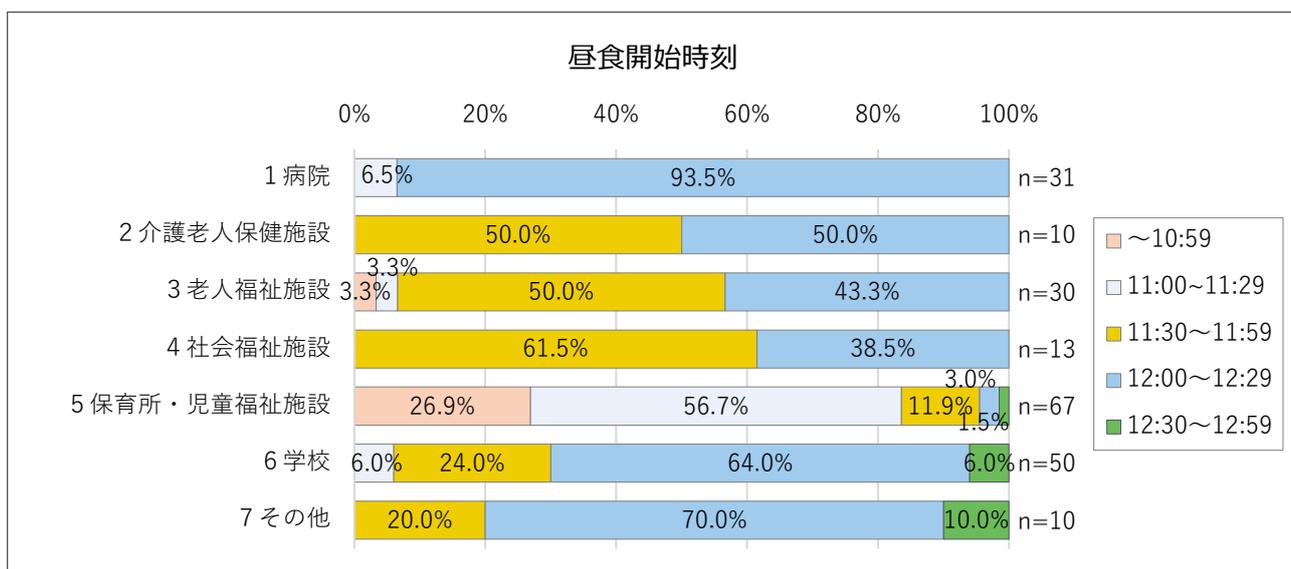
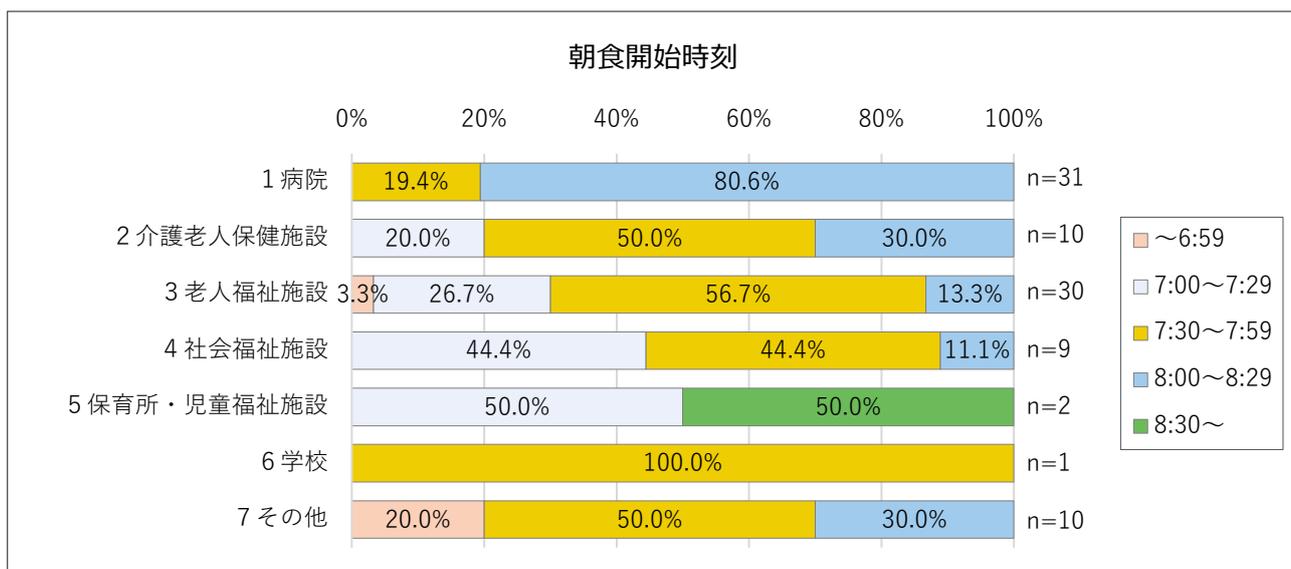
- 給食業務の一部またはすべてを委託している施設の割合は 58.0%。特に病院及び介護老人保健施設の委託率が高い

※委託あり施設では、どのような業務を委託しているのか

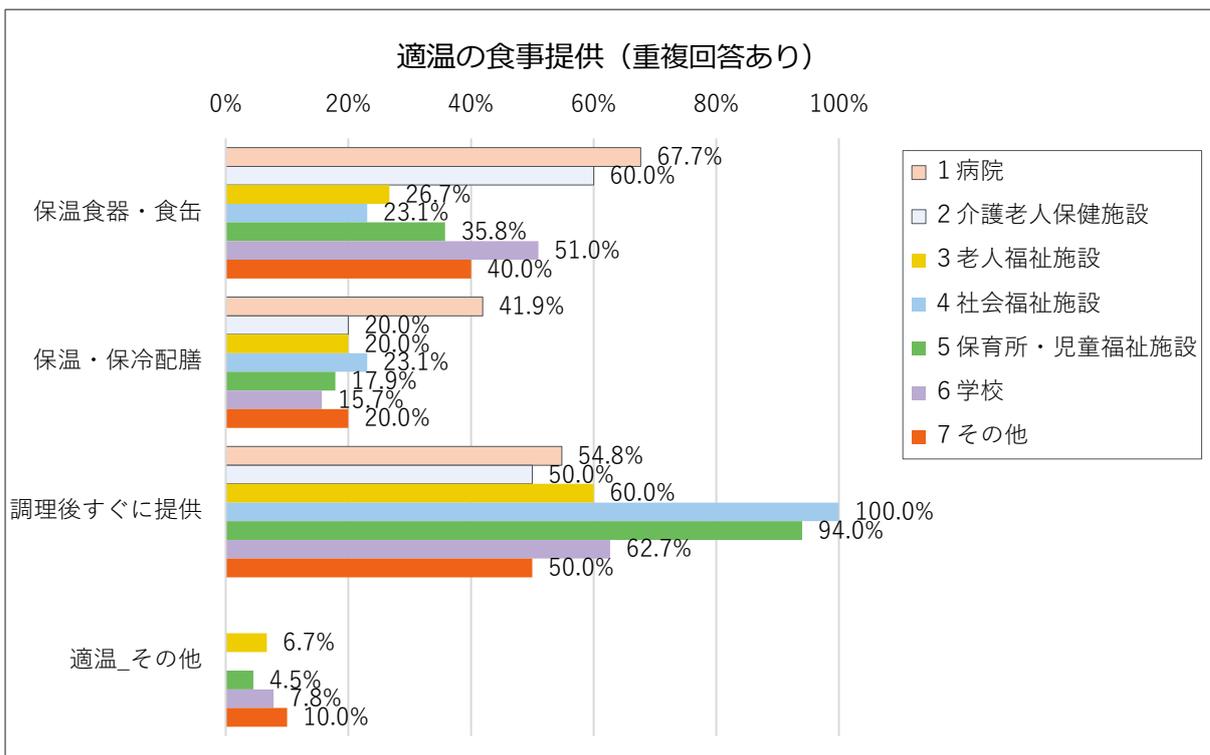


- 委託をしている施設において、「献立作成」は約5割、「材料購入」は7割、調理では8割以上の施設が委託をしている。ただし、「施設外調理」を行っている割合は1割程度。弁当購入契約実施施設は4施設だった

(3) 食事開始時刻

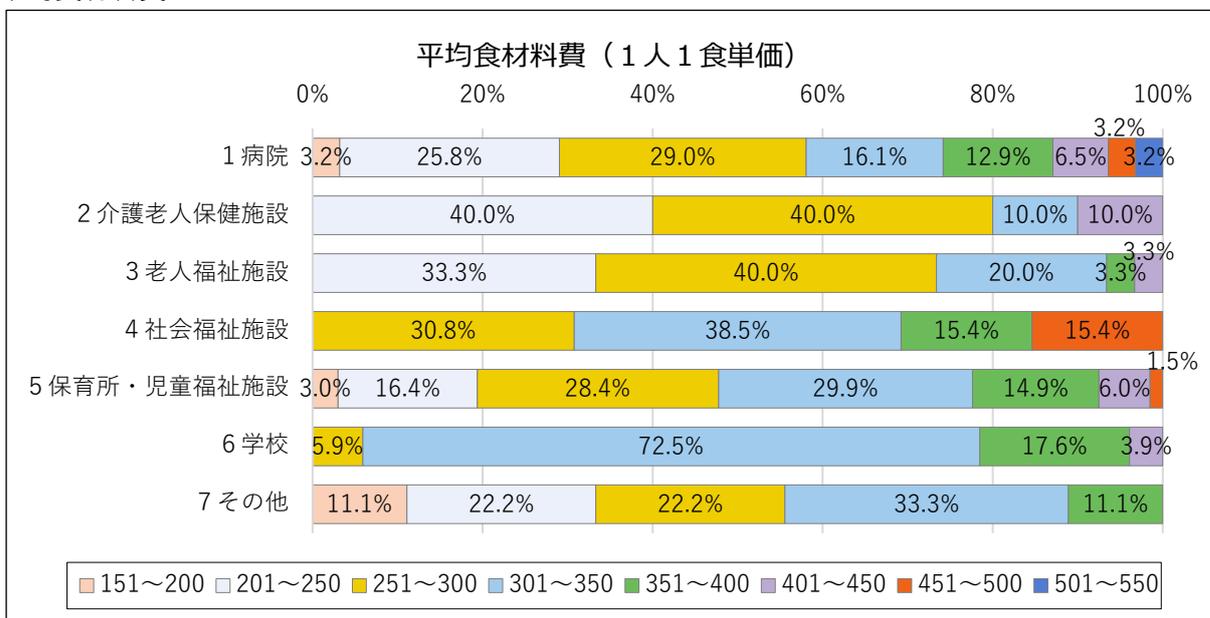


(4) 適温の食事提供



- 適温での調理提供のため、「調理後すぐに提供する」と回答している施設はいずれの施設種別でも半数を超えていた。

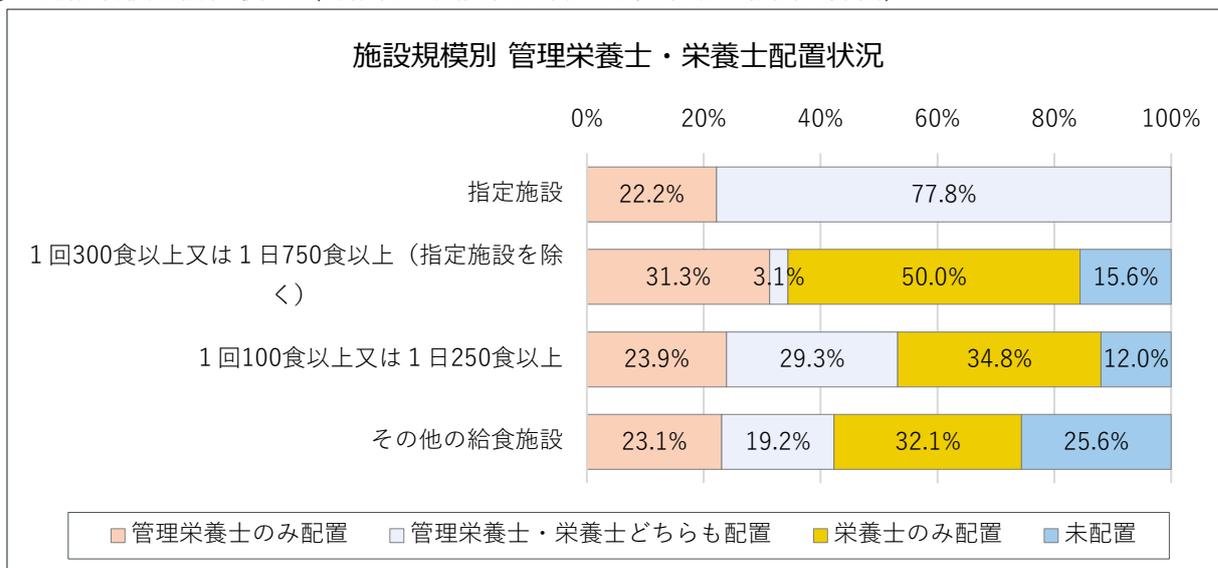
(5) 平均食材料費



- 1食当たりの平均の食材料費の平均は313円、最も安い施設では152円、高い施設は543円であった。(3食提供施設で1日の食単価から1食の食単価を算出し、150円を切った施設は記載単価を1食単価として取り扱った。)比較的3食提供施設の方が食単価は安い傾向になった。「保育所」についてはおやつ等の分の価格も含まれていると推察されるため、単純に比較はできない。

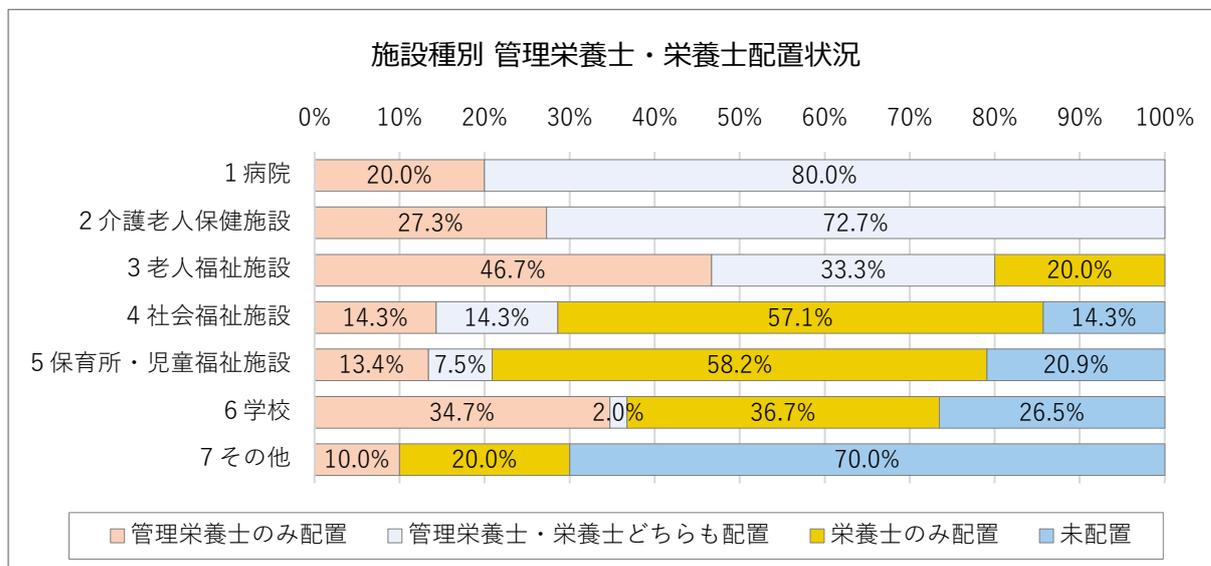
(6) 管理栄養士・栄養士配置状況

① 施設規模別配置状況（施設側・受託側を合わせ、常勤の職員を算出）



- 「指定施設」には管理栄養士は配置されていた。（健康増進法で配置の義務がある。）
- 「特定給食施設」には、栄養士又は管理栄養士を置くよう努めることとされているが、12%の施設で配置されていなかった。

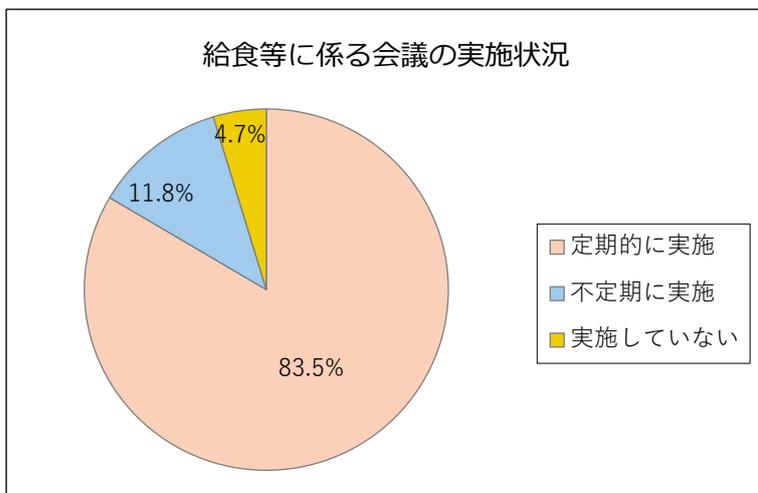
② 施設種別配置状況



- 病院、介護老人施設には1人以上の管理栄養士が配置されていた。
- 管理栄養士・栄養士の未配置施設の割合は、その他の施設、児童福祉施設、学校の順で高い。

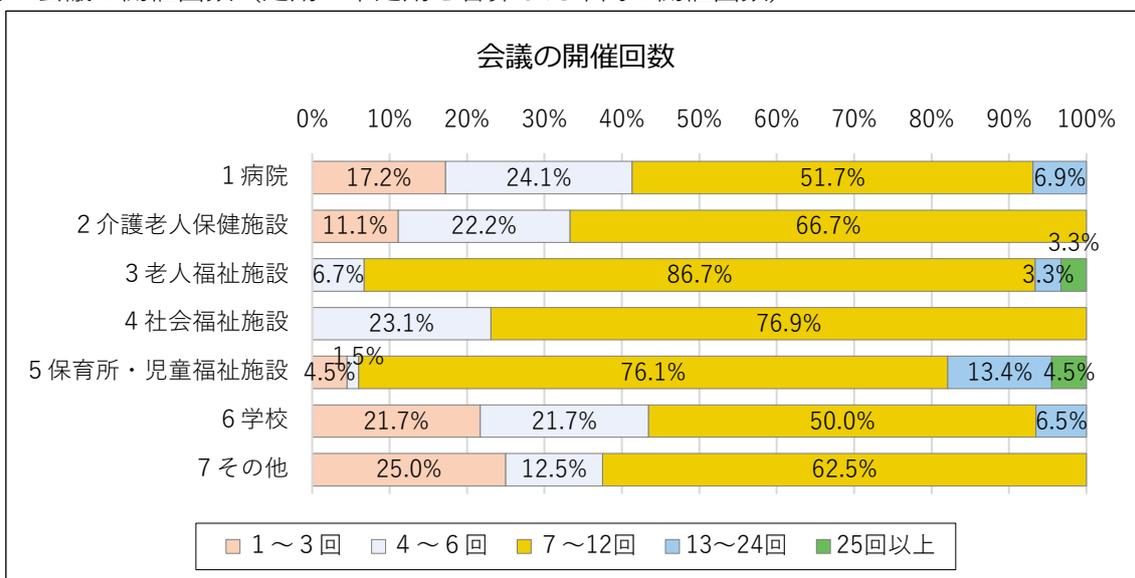
(7) 給食等に係る会議の実施状況

① 給食等に係る会議の実施状況



➤ 95%以上の施設で給食等に係る会議を実施している

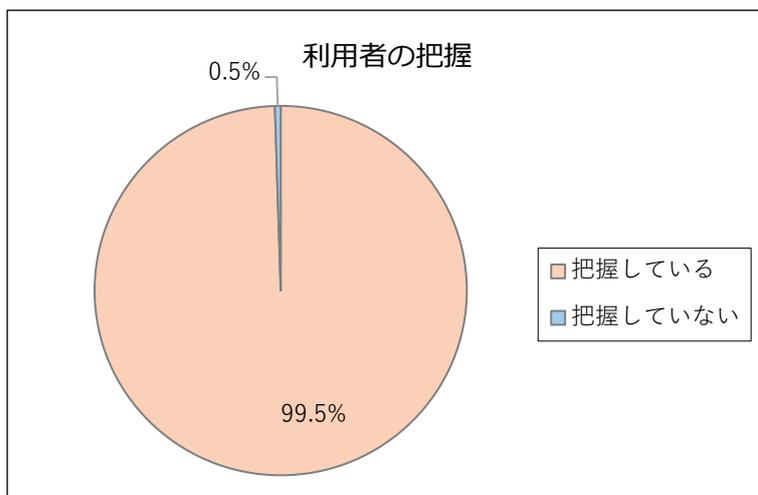
② 会議の開催回数（定期・不定期を合算した年間の開催回数）



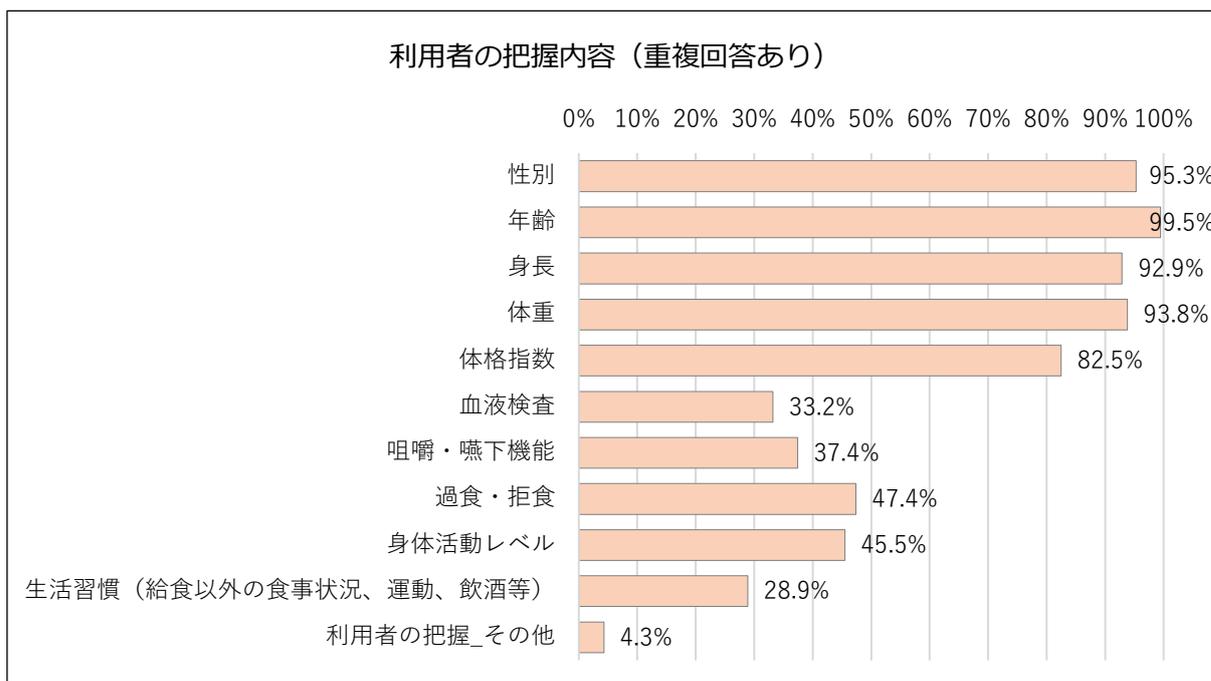
➤ 開催回数の平均は 11.3 回

(8) 利用者の把握

① 利用者の把握状況



② 利用者の把握内容（把握をしている施設の年1回以上アセスメントを行っている内容）



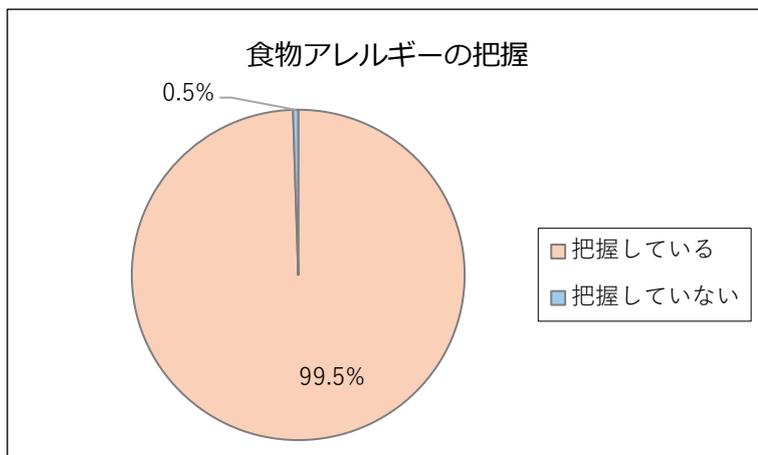
➤ その他の内容

「既往症」2、「褥瘡の有無」3、「食物アレルギーの有無」、「介護度」、「身体要害の有無」、「聴力の程度」、「栄養素摂取状況」、「水分摂取状況」、「その他の身体計測」、「消化器症状」、「体重減少」、「ストレス係数」

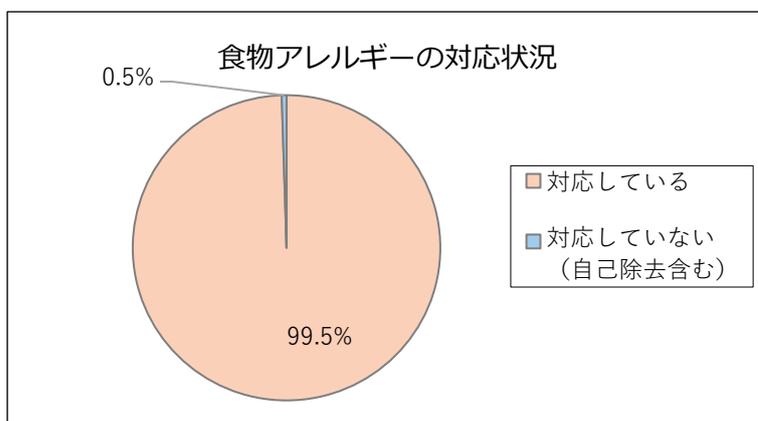
➤ 「性別」、「年齢」、「身長」、「体重」、「体格指数」については8割以上の施設でアセスメントを行っていた。

(9) 食物アレルギーの把握及びその対応

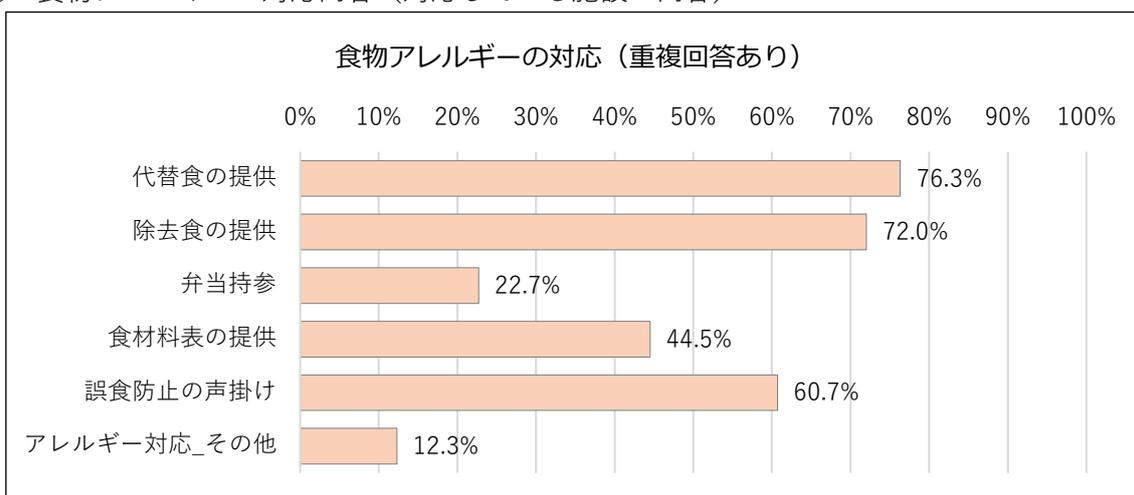
① 食物アレルギーの把握状況



② 食物アレルギーの対応状況（食物アレルギーの把握をしている施設の対応状況）



③ 食物アレルギーの対応内容（対応している施設の内容）

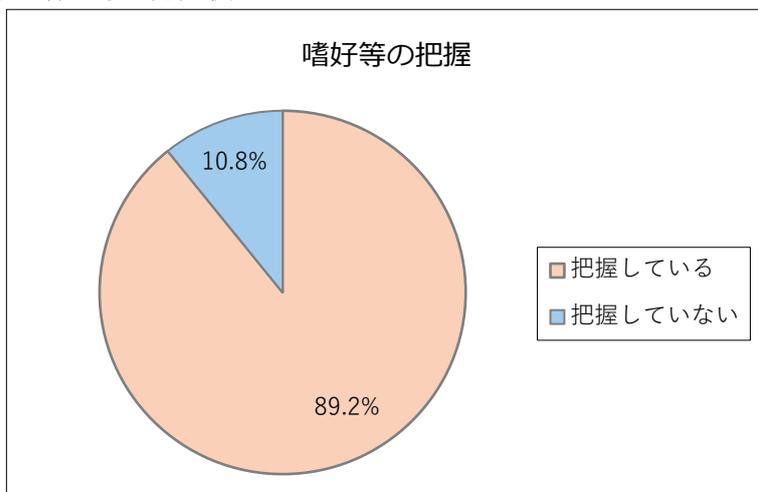


➤ その他の内容

「個別トレー」6、「個別食器」4、「食札」4、「返金対応」2、「個別献立表の配付」2、「表示」2、「誤食事のエピペン（与薬）保管」、「予定献立表から除去食材を確認」、「先に調理・配食」等

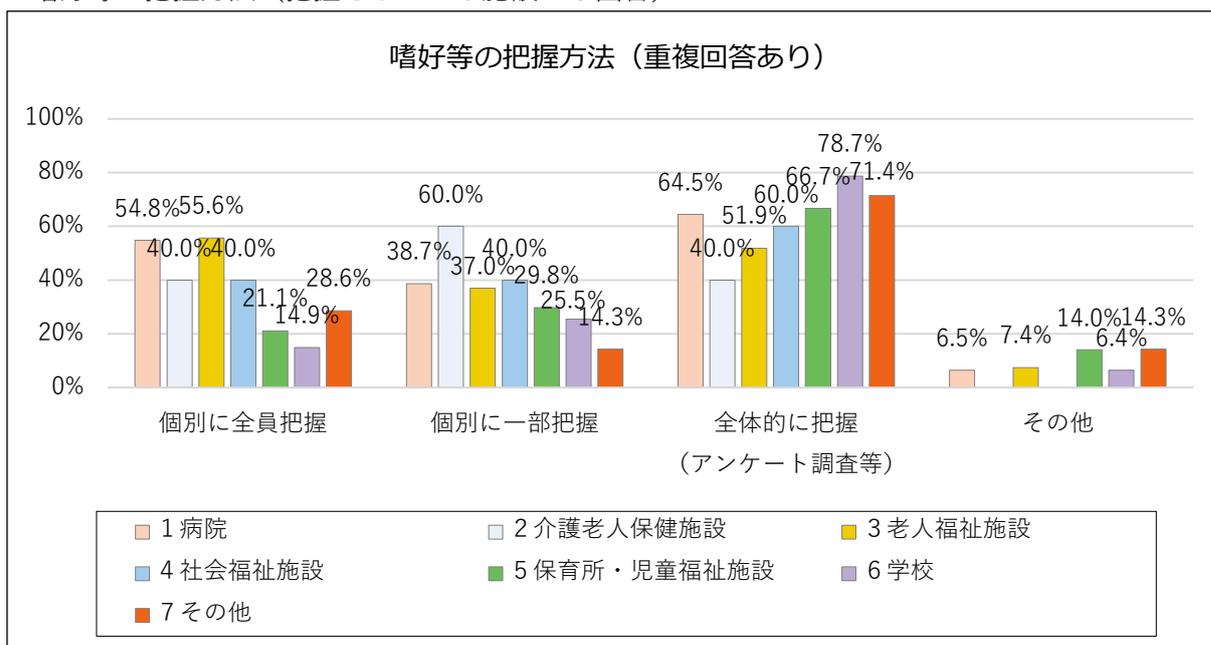
(10) 嗜好等の把握

① 嗜好等の把握状況



➤ 「病院」及び「介護老人保健施設」では全施設で嗜好等の把握を行っていた。

② 嗜好等の把握方法（把握をしている施設のみ回答）



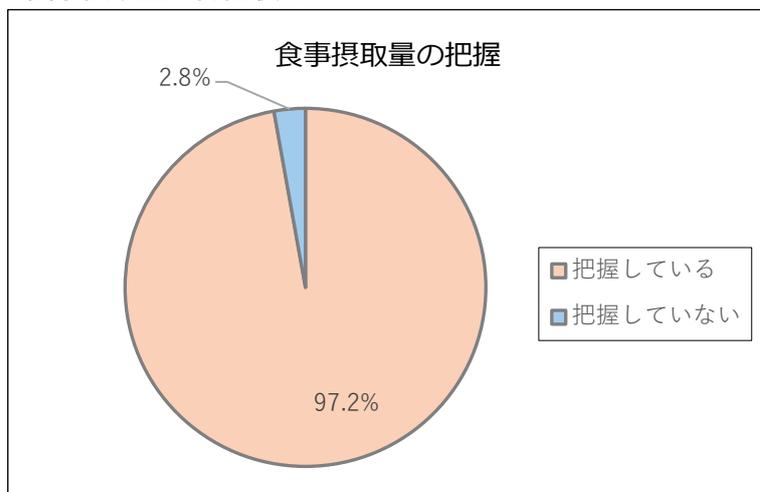
➤ 「病院」、「介護老人保健施設」、「老人福祉施設」では、個別に把握している割合が高い傾向にあった。

➤ その他の内容

「他職種から摂食状況を確認（検食簿、給食会議等）」5、「喫食時訪問・観察」4、「残菜量の確認」2、「リクエスト献立の実施」2

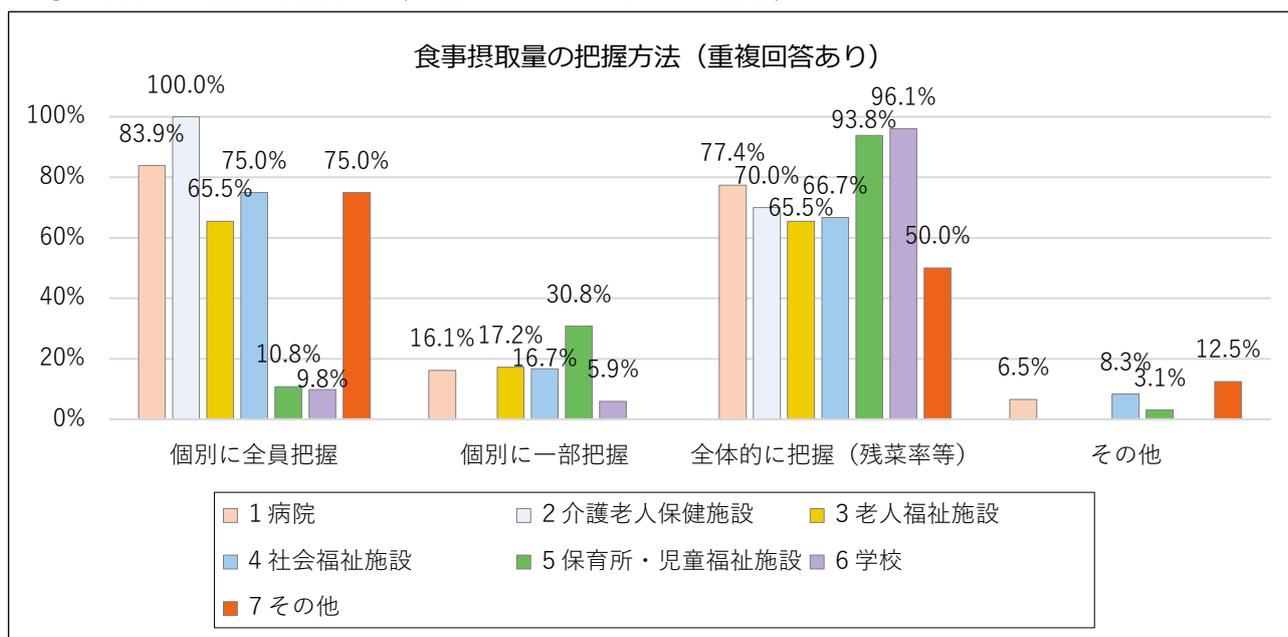
(10) 食事摂取量の把握

① 食事摂取量の把握状況



➤ 「病院」及び「介護老人保健施設」、「学校」では全施設で食事摂取量の把握を行っていた。

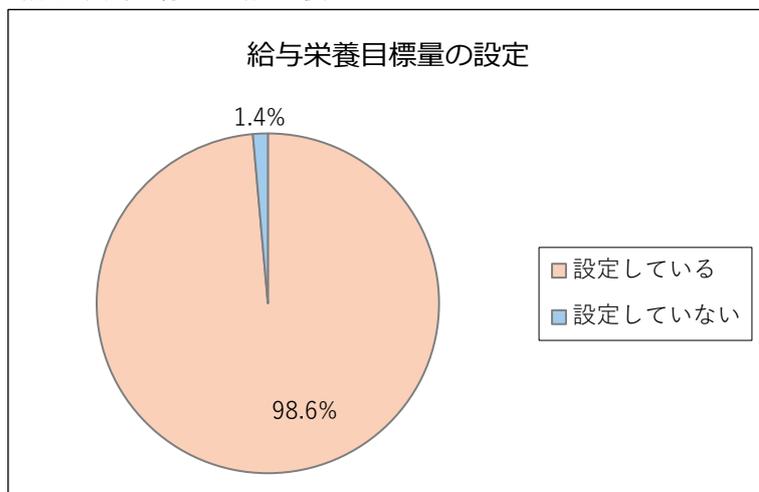
② 食事摂取量の把握方法（把握をしている施設のみ回答）



➤ 「保育所・児童福祉施設」、「学校」では、個別に把握している割合が低かった。

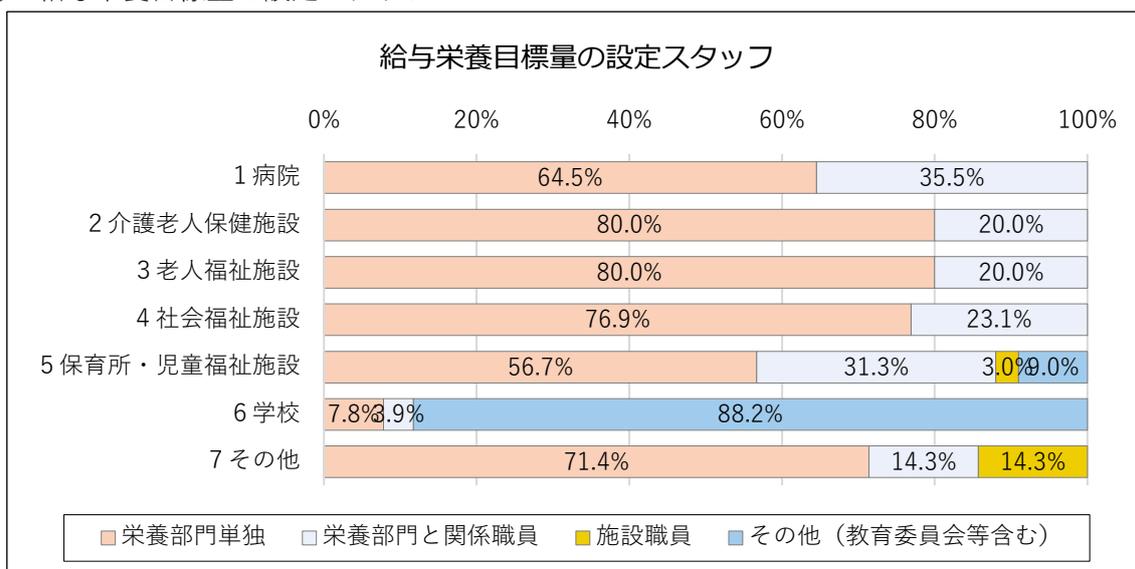
(11) 給与栄養目標量の設定

① 給与栄養目標量の設定状況



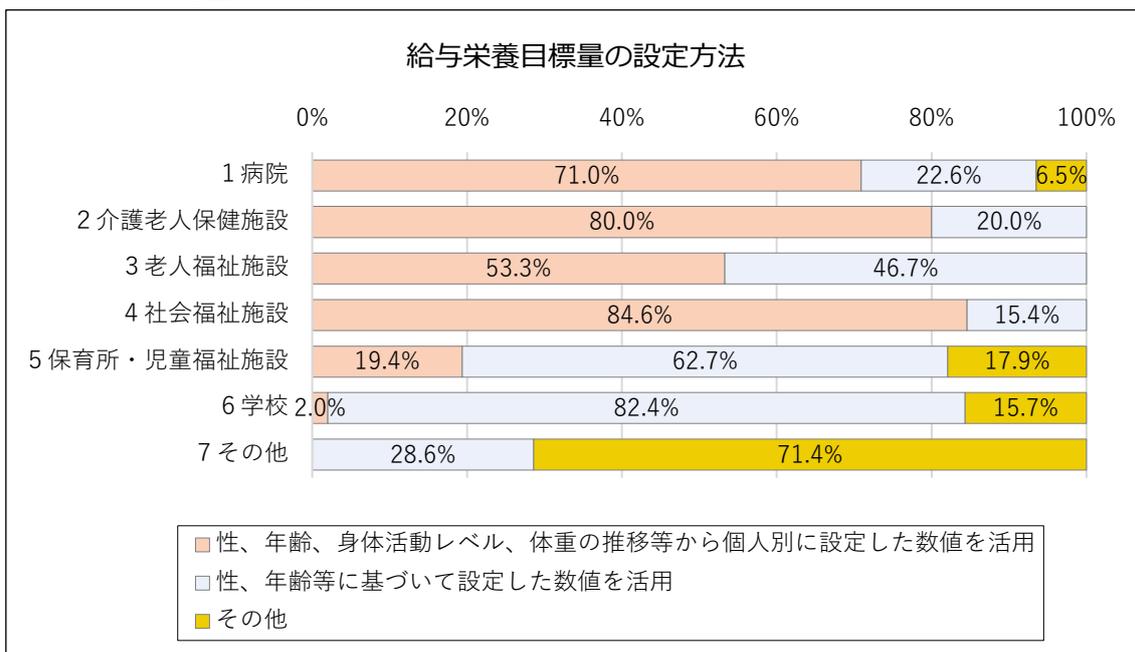
【以下、設定している施設の設定内容】

② 給与栄養目標量の設定スタッフ

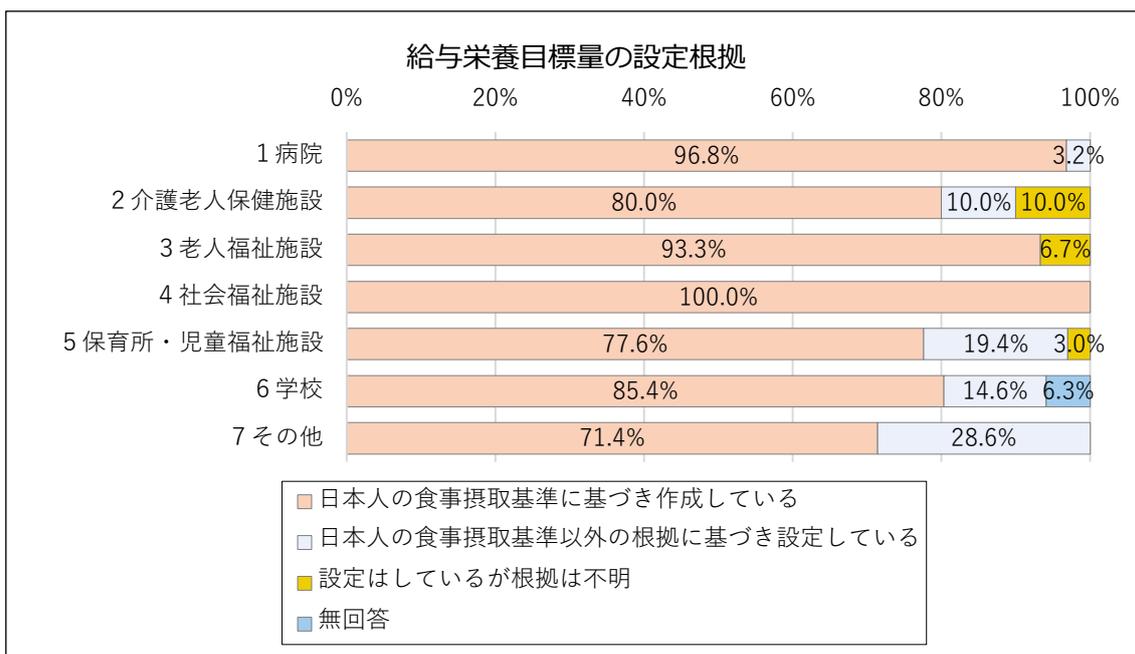


➤ 学校以外の施設については、「栄養部門単独」で設定している施設が半数を超えていた。

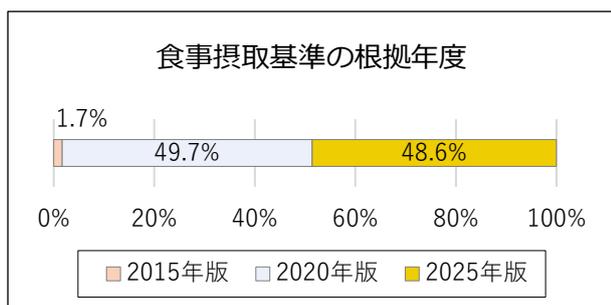
③ 給与栄養目標量の設定方法



④ 給与栄養目標量の設定根拠



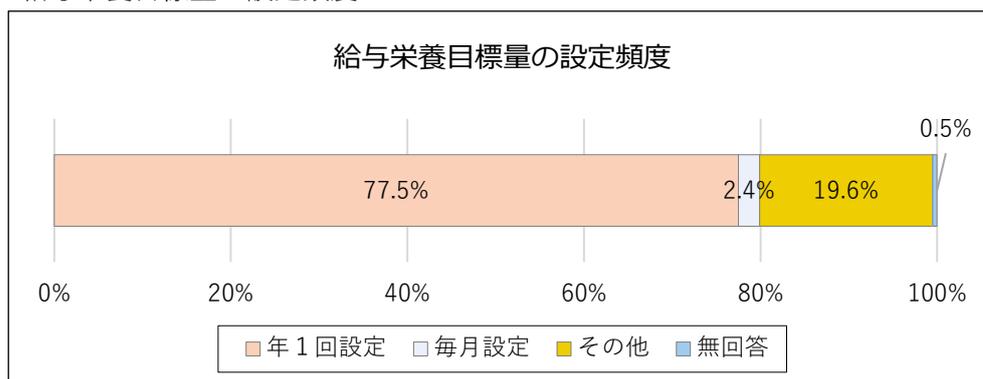
④-2 日本人の食事摂取基準に基づき目標量を設定している施設の根拠年度



④-3 日本人の食事摂取基準以外の根拠内容

- 市の基準を参考（学校・保育施設） 18 施設
- ハリスベネディクト計算法 1 施設
- 併設されている施設の食事箋 1 施設
- 国が定めた基準 2 施設
- その他 2 施設

⑤ 給与栄養目標量の設定頻度

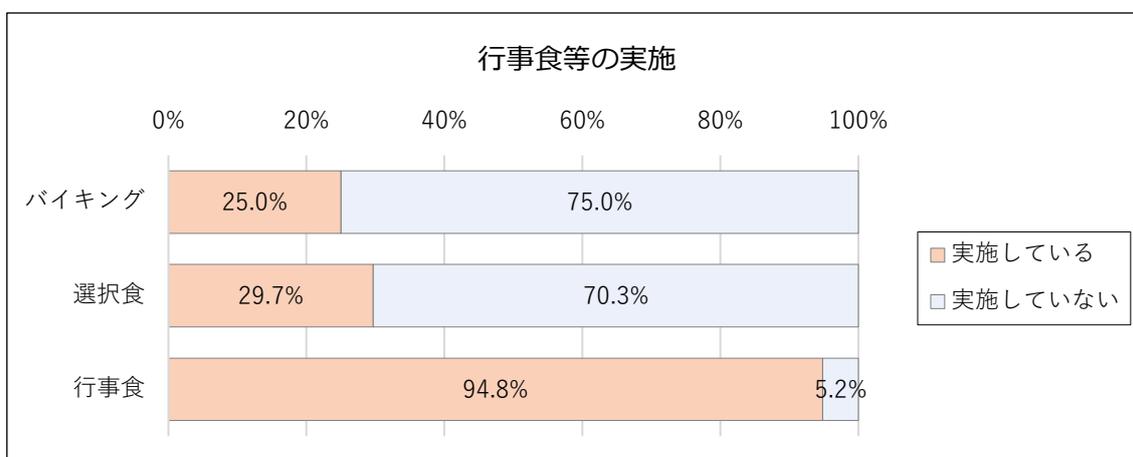


➤ その他の内容

「食事摂取基準改定時（5年ごと）」13、「必要に応じて」8、「年2回」5、「学校給食摂取基準の見直し時」5、「特に決めていない」4、「不定期」2、「数年に1度」、「2年に1度」、「栄養状態や治療状況による」、「3か月毎」、「栄養会議後検討」、「栄養状態や治療状況によって」、「見直しはしていない」

- 給与目標量の設定頻度については、当所では施設基準を想定した設問であったが、個別の目標量を想定して回答した施設もあったようである。次年度以降については「施設としての栄養給与目標量（基準）」など、明確に伝わる文言に変更予定。

(12) 行事食等の実施

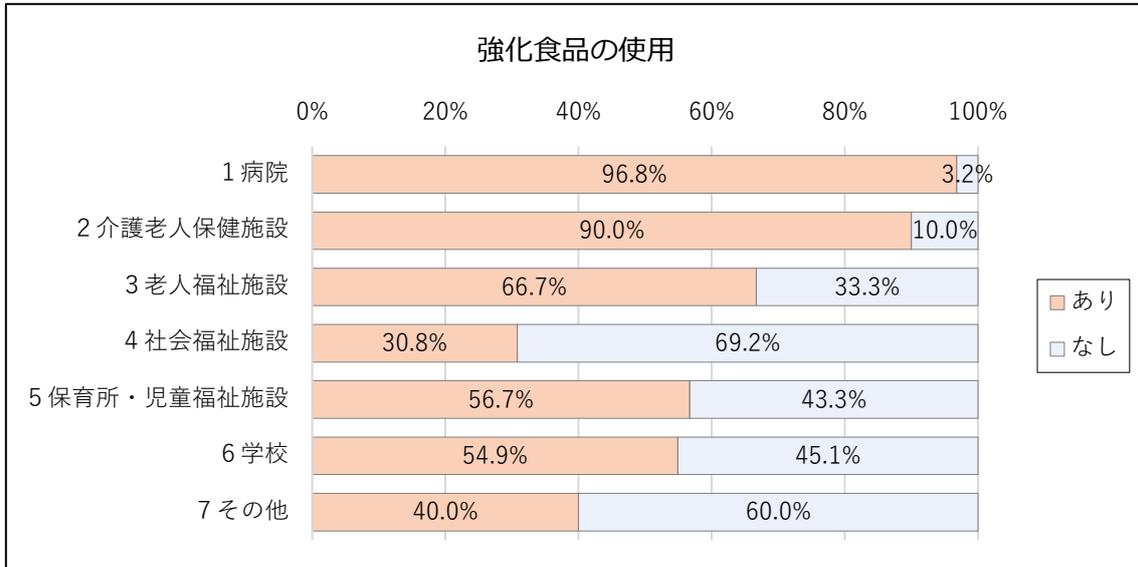


実施している施設の平均回数

- バイキングの年間平均回数 3.5回
- 選択食の月平均回数 3.4回
- 行事食の月平均回数 2.2回

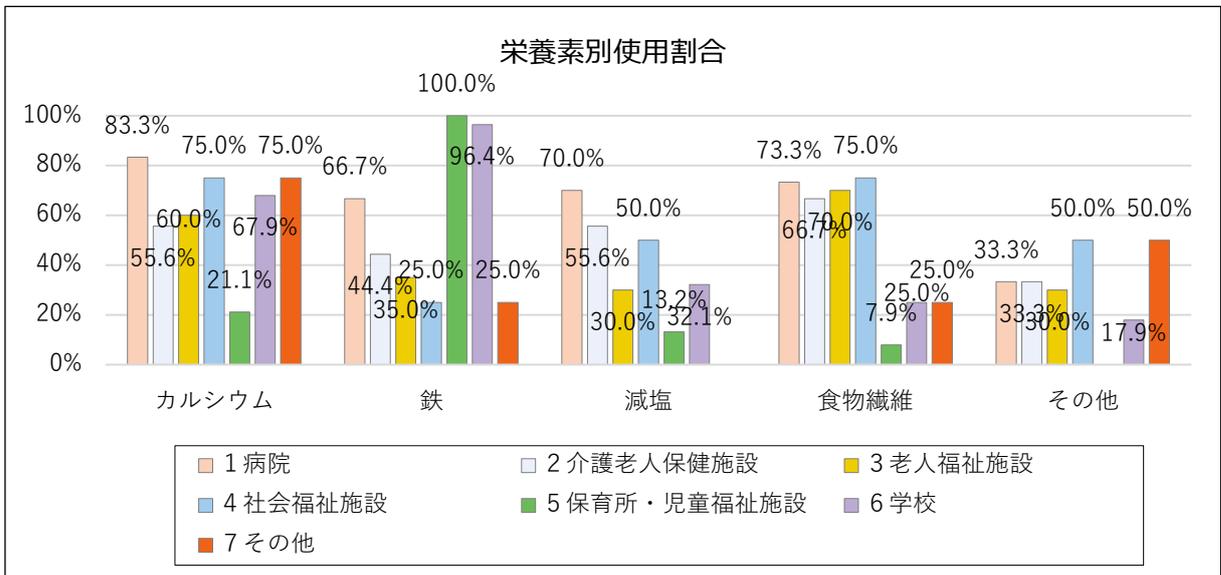
(13) 強化食品等の使用

① 強化食品の使用状況



➤ 「病院」、「介護老人保健施設」では、9割以上の施設で使用している一方、社会福祉施設では約3割と施設の種別によって、使用割合に差が見られた。

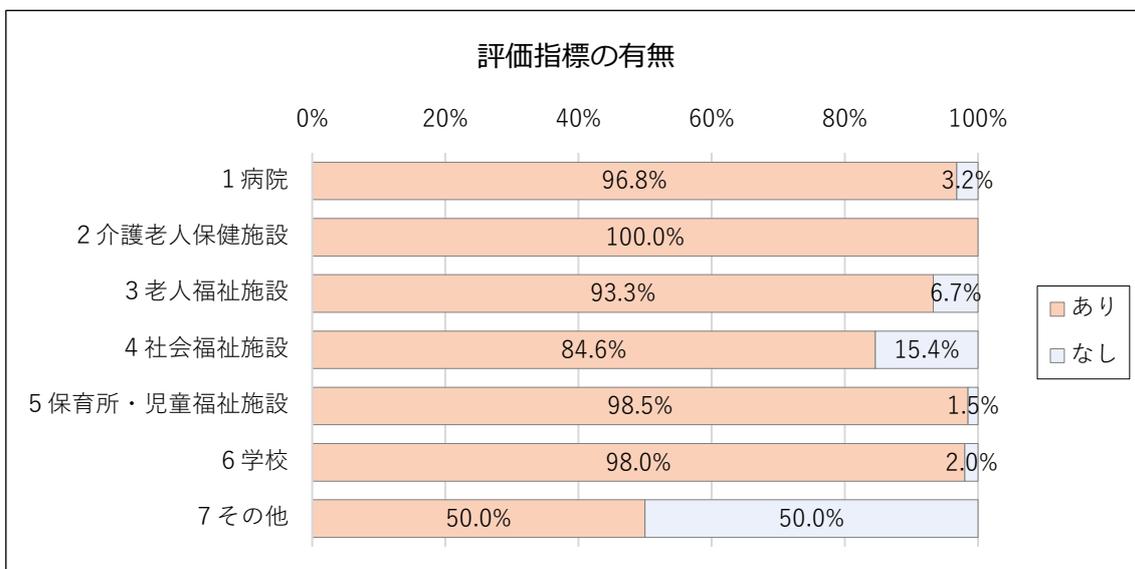
② 栄養素別強化食品の使用割合（使用している施設内の割合）



➤ 「保育所・児童福祉施設」、「学校」では鉄が高かった。「病院」では、「カルシウム」、「鉄」、「減塩」、食物繊維」のいずれも使用割合が6割を超えていた。

(14) 提供した給食の評価指標

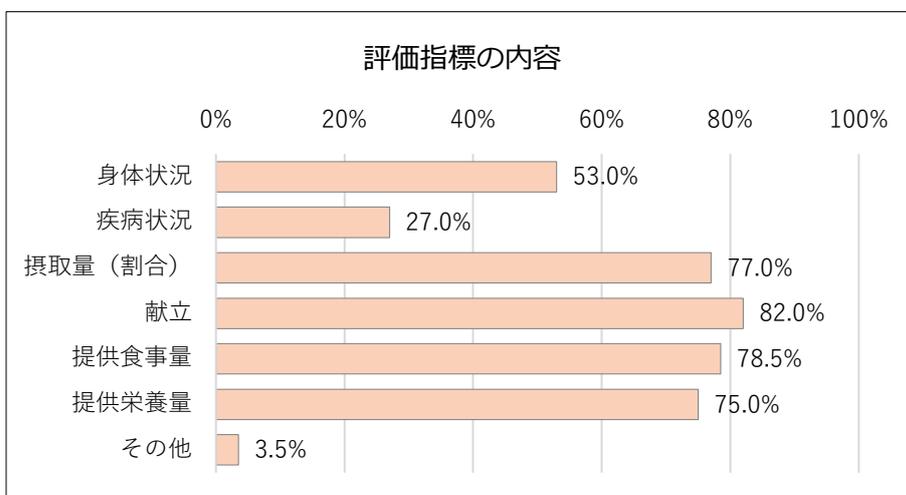
① 評価指標の有無



➤ 評価指標を「あり」と答えた施設が大半であるが、「その他」の施設のみ半数となった。

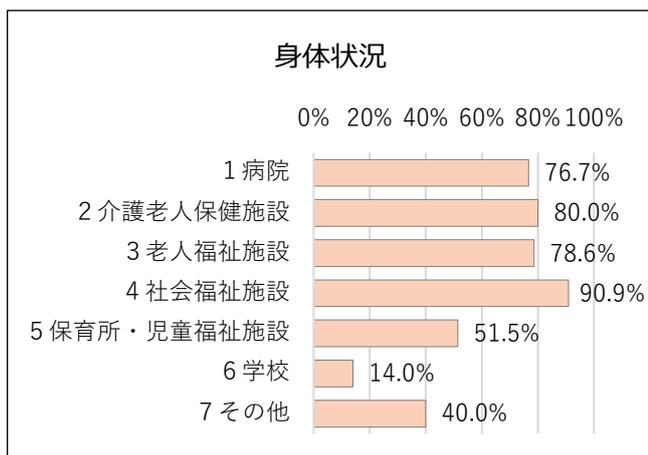
【以下、評価指標ありと回答した施設の内容】

② 評価指標の内容

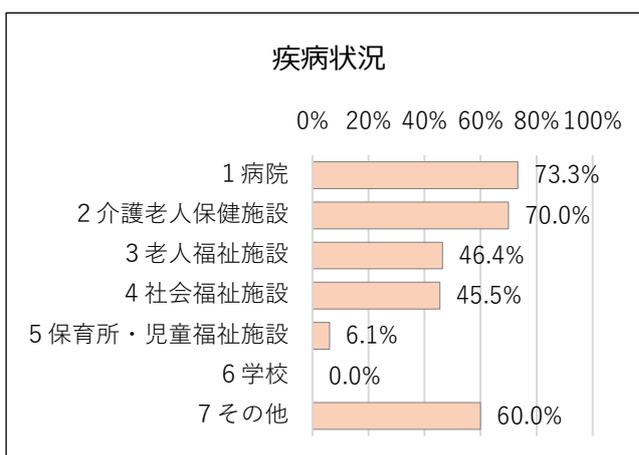


施設の種別により、回答に差が見られたのは「身体状況」と「疾病状況」。詳細は下記のとおり

②-2 身体状況（施設種別）

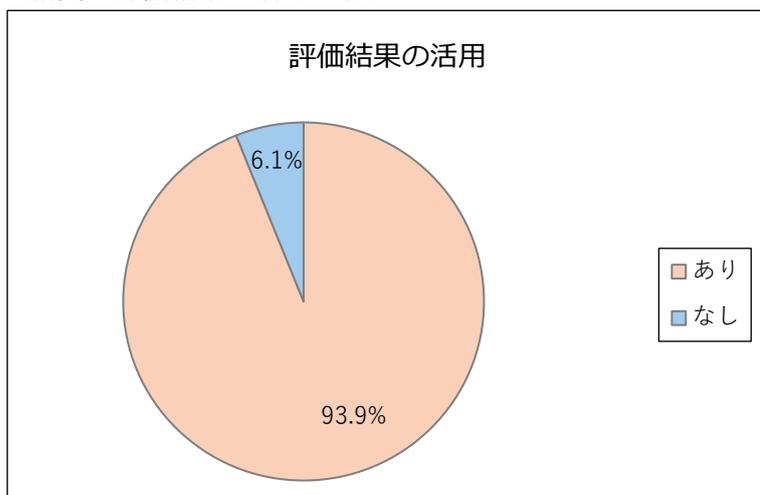


②-3 疾病状況（施設種別）



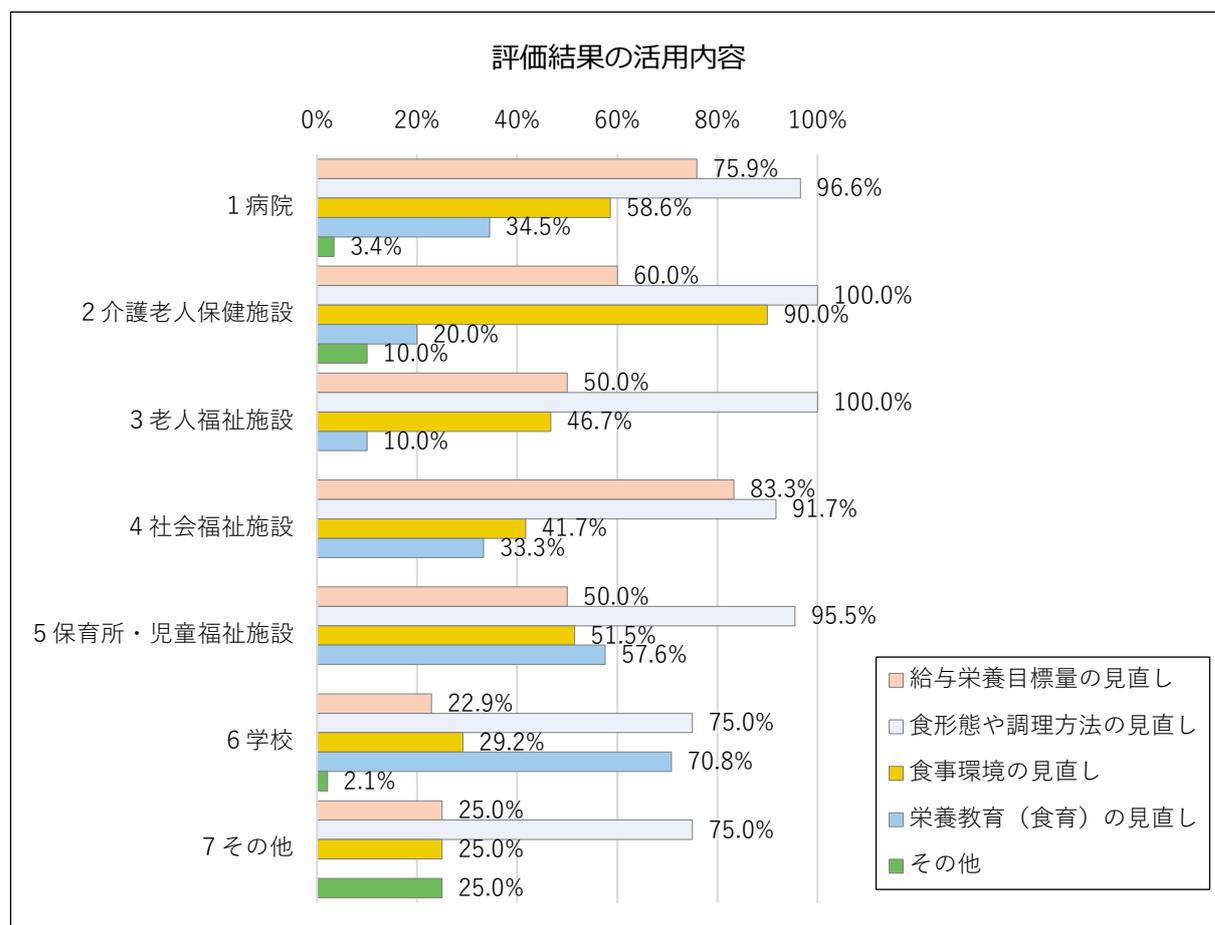
(15) 給食の評価結果の活用

① 給食の評価結果の活用の有無



評価結果を活用している施設は、9割を超えており高かった。

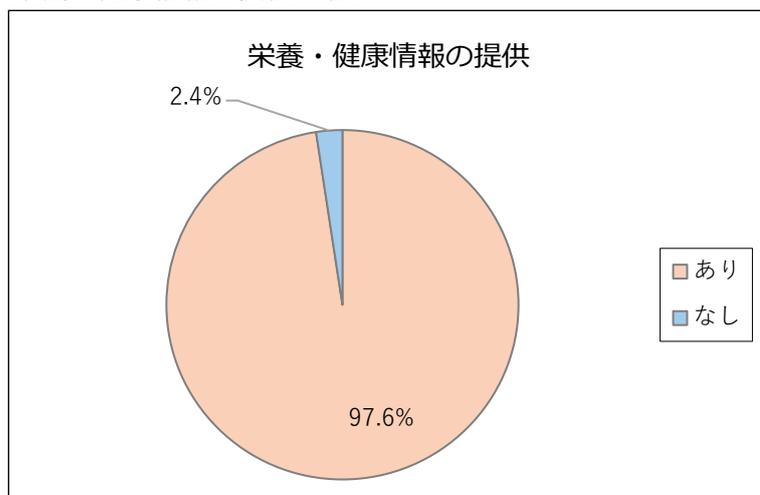
② 給食の評価結果の活用内容



➤ 活用の内容は、施設種別ごとに異なる傾向が見られた。

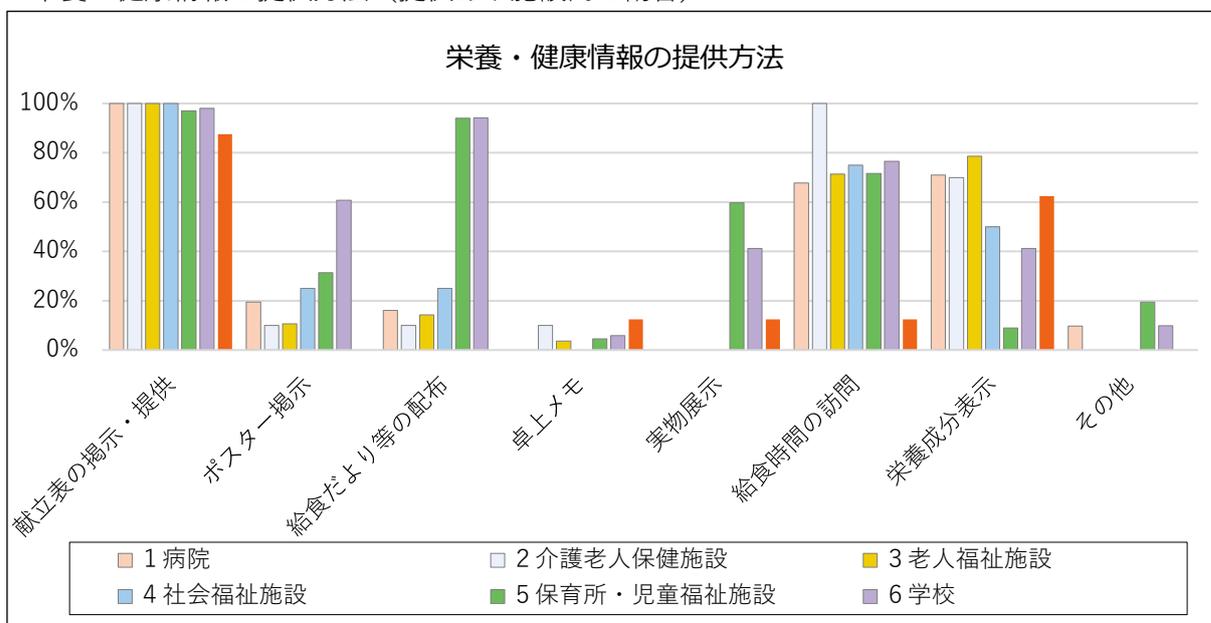
(16) 栄養・健康情報の提供

① 栄養・健康情報の提供の有無



栄養・健康情報の提供を行っている施設は、9割を超えており高かった。

② 栄養・健康情報の提供方法（提供あり施設内の割合）



施設種別	献立表の掲示・提供	ポスター掲示	給食だより等の配布	卓上メモ	実物展示	給食時間の訪問	栄養成分表示	その他
1 病院	100.0%	19.4%	16.1%	0.0%	0.0%	67.7%	71.0%	9.7%
2 介護老人保健施設	100.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%	70.0%	0.0%
3 老人福祉施設	100.0%	10.7%	14.3%	3.6%	0.0%	71.4%	78.6%	0.0%
4 社会福祉施設	100.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	50.0%	0.0%
5 保育所・児童福祉施設	97.0%	31.3%	94.0%	4.5%	59.7%	71.6%	9.0%	19.4%
6 学校	98.0%	60.8%	94.1%	5.9%	41.2%	76.5%	41.2%	9.8%
7 その他	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	62.5%	0.0%

➤ その他の内容

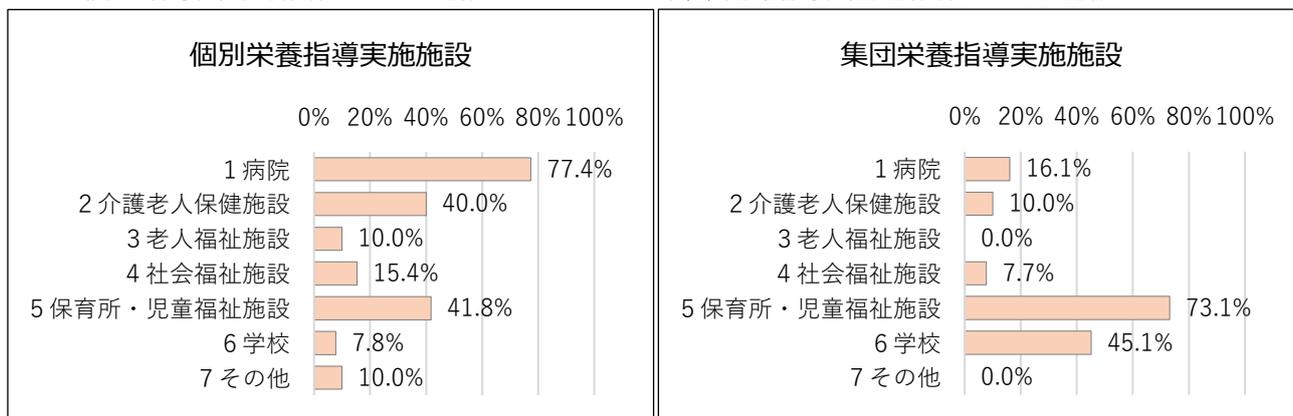
「人気レシピ等の配付」3、「給食写真の掲示」2、「試食会」、「産地表示」、「ホームページ」等

➤ 「献立表の掲示・提供」については、ほとんどの施設で行われている。他の内容については施設による偏りが大きい。

(17) 栄養指導

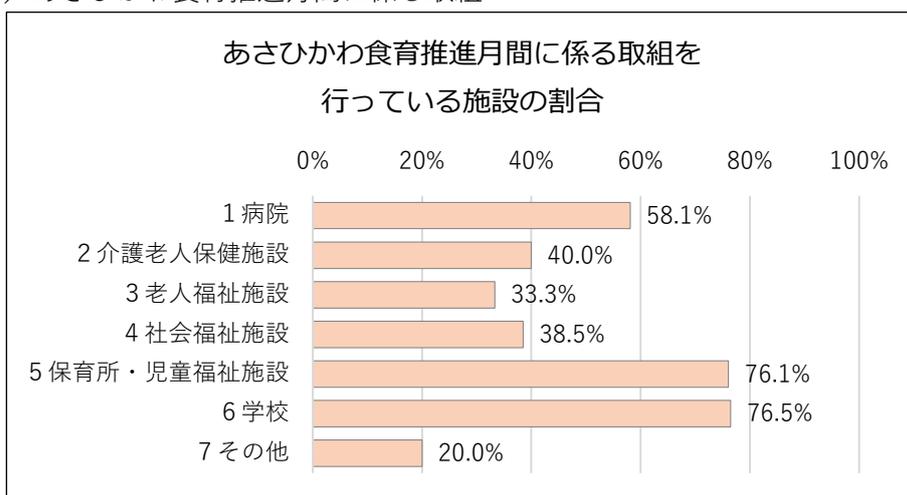
個別指導実施施設数 66 施設

集団栄養指導実施施設数 79 施設

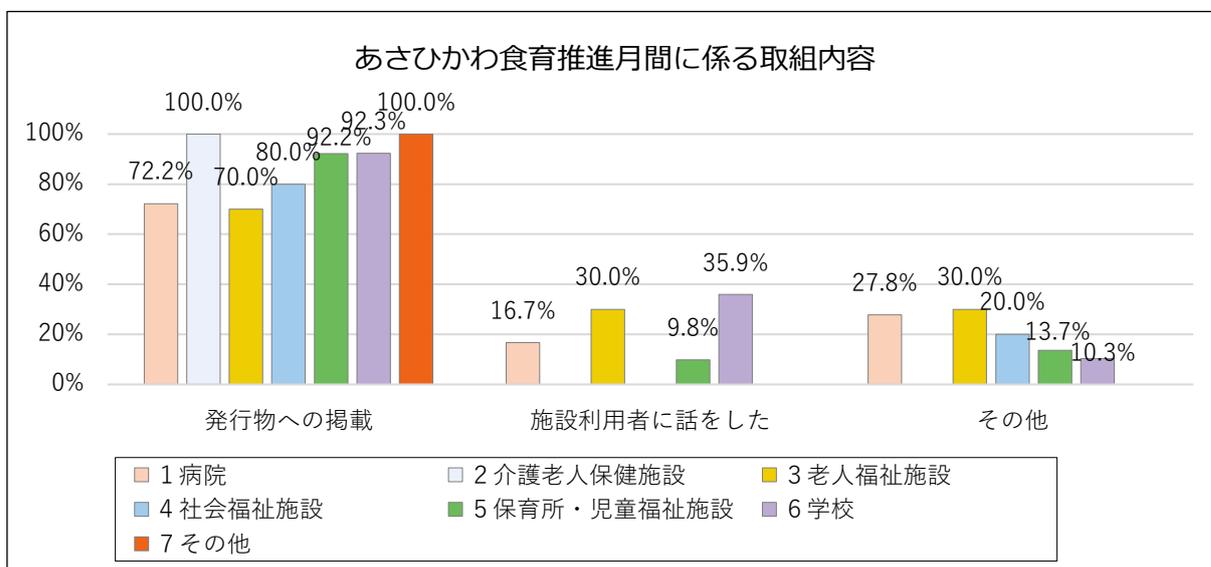


- 「保育所・指導福祉施設」は個別、集団いずれも高い傾向にある。また、「病院」の8割弱が個別栄養相談を実施している。

(18) あさひかわ食育推進月間に係る取組

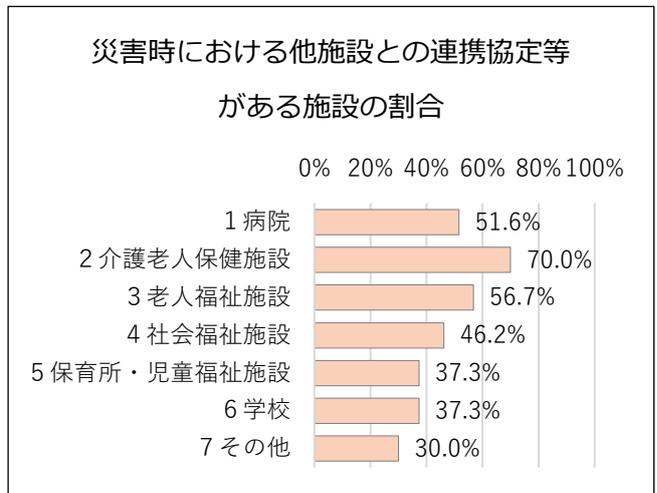
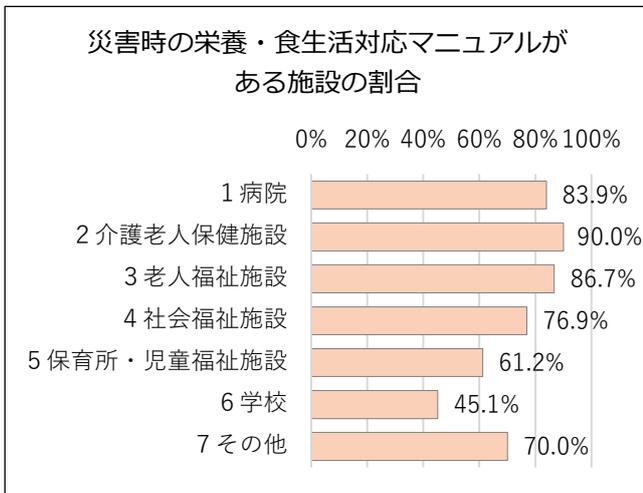


- 「保育所・児童福祉施設」、「学校」の協力率が高く75%を超えていた。

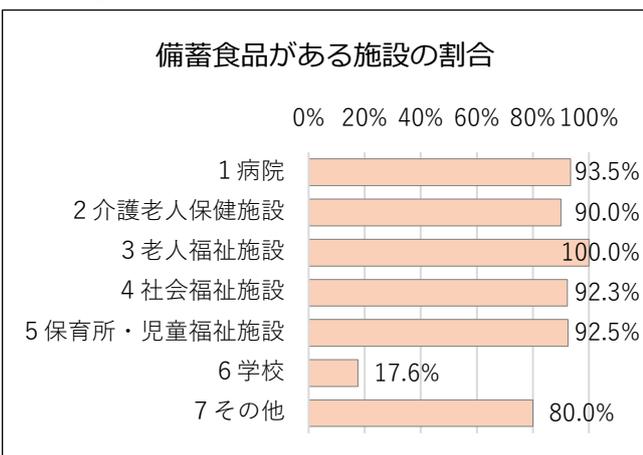


(19) 非常時危機管理対策

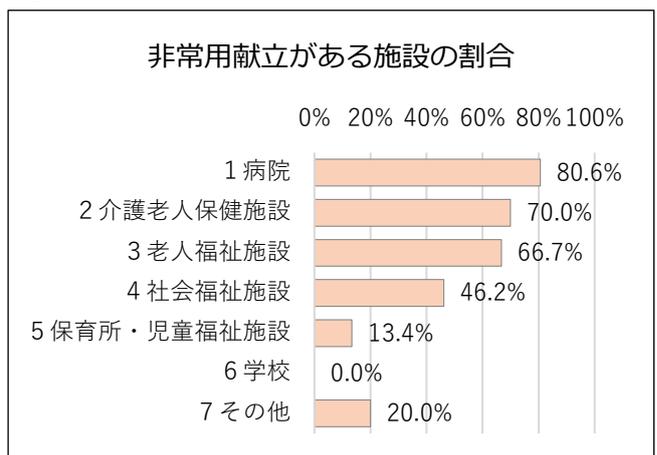
- ①災害時の栄養・食生活対応マニュアル策定 ②災害時における他施設との連携協定等
状況



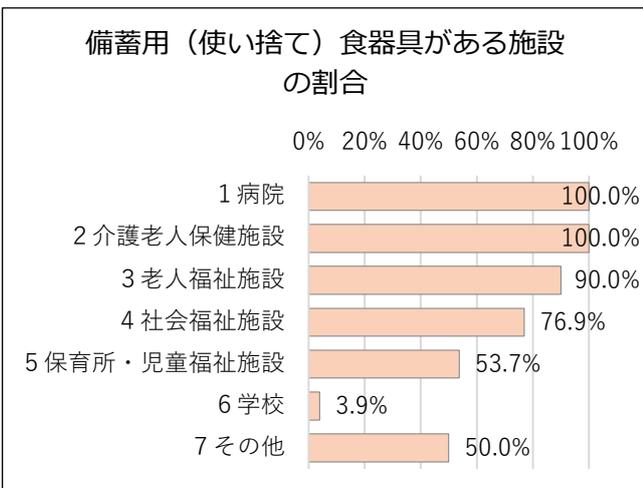
③備蓄食品



④非常用献立

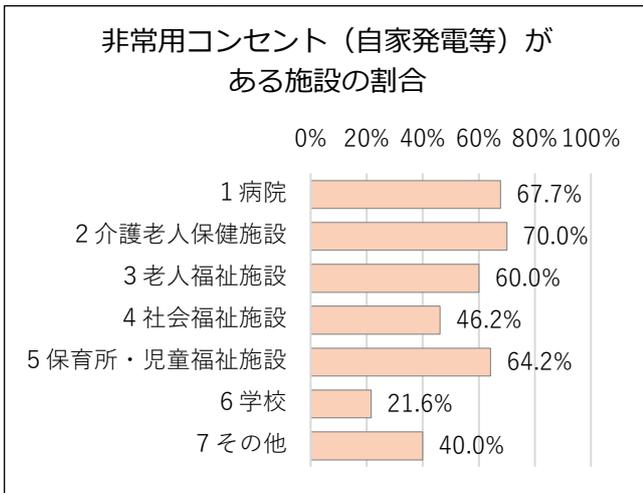


⑤備蓄用（使い捨て）食器類

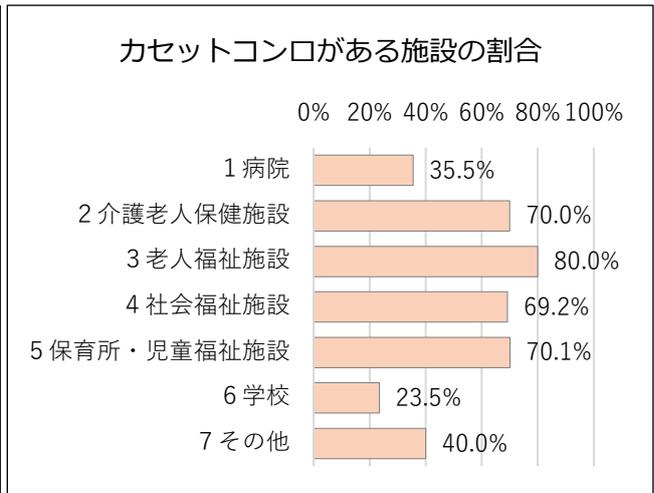


⑥ライフライン

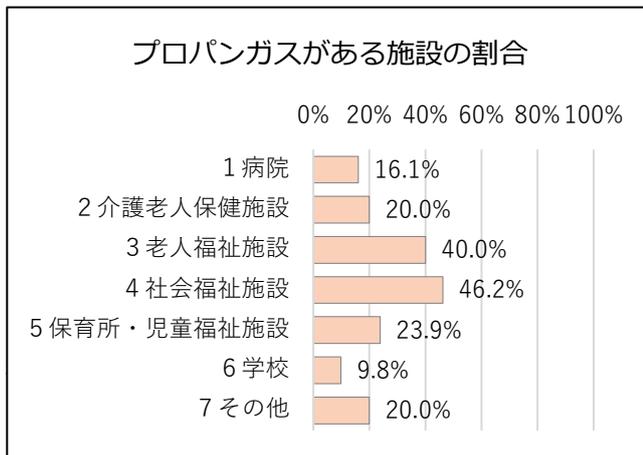
(ア) 電気



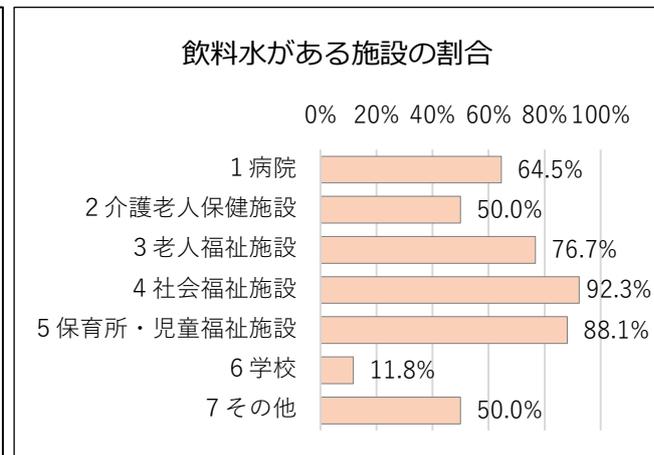
(イ) カセットコンロ



(ウ) プロパンガス



(エ) 飲料水



(オ) 貯水槽

